

シン学校プロジェクト 一宮市立北部中学校基本計画（案）概要

【シン学校プロジェクトとは】

シン学校プロジェクトは、少子化が進み児童生徒数が減少する中で、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆さまからご意見をいただいて、一緒に考えていこうというものです。

2024(令和6)年4月から第1期プロジェクト(前期、後期)の候補となる学校の提案を募集し、北部中学校については最も古いところの築年数が70年を超えている北舎を建て替えるという提案を受け、2024(令和6)年7月の総合教育会議において、前期の対象校に決定しました。

(1) 整備のコンセプト

ワークショップで提示された整備のコンセプトを以下に示します。

学びと地域が織りなす シン北部中学校

学びを広げる充実した環境

- ・生徒が自由に利用できる
- ・遊びも学校も研究も探求できる
- ・色々な文化や運動を体験できる
- ・心の豊かさがつくれる
- ・将来の選択肢を広げることができる
- ・学校の枠を超えた文教地区のハブ

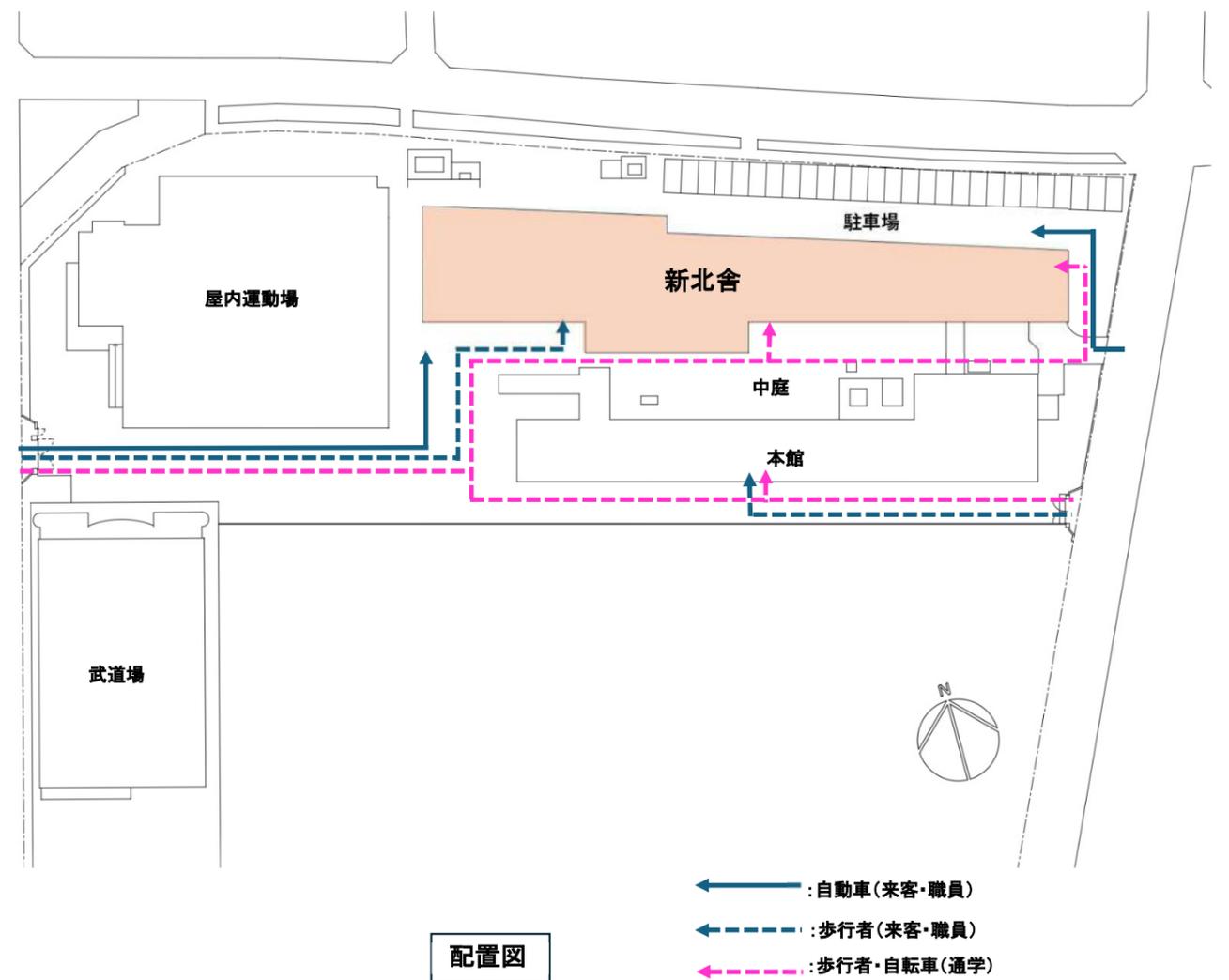
居場所になる学校づくり

- ・音楽室や図書室を地域開放
- ・みんなと一緒に暮らしていける場所
- ・卒業しても通える学校
- ・子ども、地域の人、先生方が落ち着いて過ごせる場所
- ・統一感より開放感のある校舎
- ・様々な居場所、安全に集える空間

関わり合える環境と関係の拠点

- ・皆が先生で皆が生徒
- ・地域の中心としての学校
- ・地域で子どもを見守る
- ・大人と子どもと一緒に色々できる
- ・笑顔に癒され元気がみなぎる

(2) 配置計画



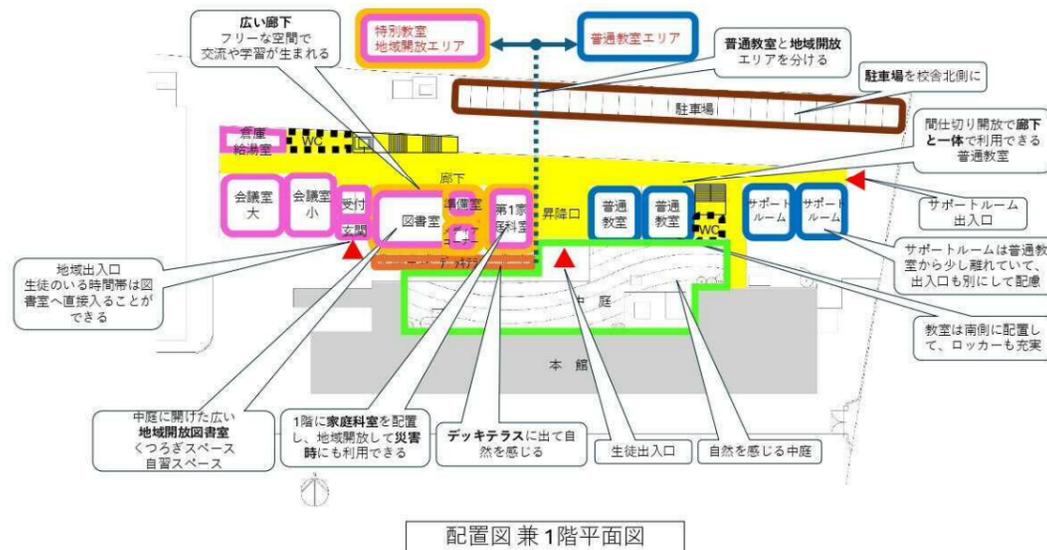
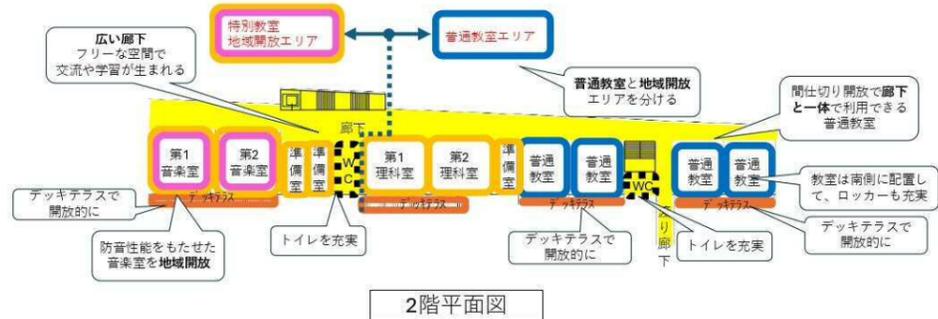
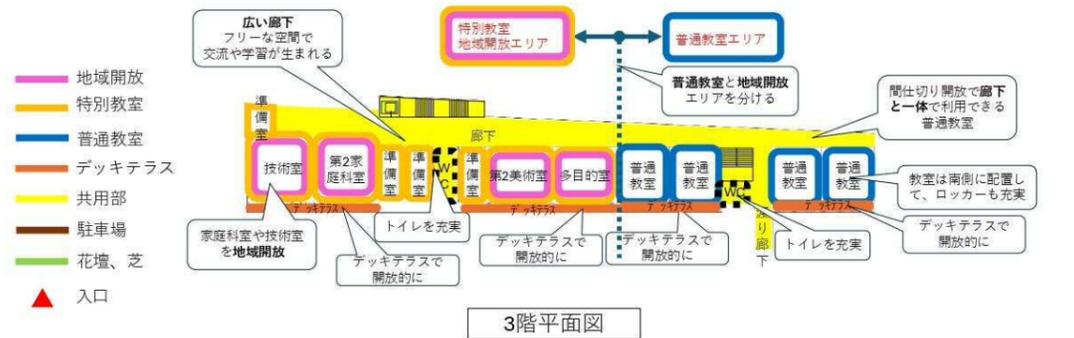
配置図

- ← : 自動車(来客・職員)
- ← : 歩行者(来客・職員)
- ← : 歩行者・自転車(通学)

(3) 整備方針

地域の方からの提案は、3度にわたる増築を繰り返した北舎の最も古いところは、築70年を超えており、床の劣化等が見られるなど、建物の老朽化に伴い、危険性が非常に高いことを問題視し、建て替えを求める内容でした。そのため改めて北舎の劣化状況について調査し、老朽化の程度について判定し、その結果を踏まえて建て替えを含めた今後の整備方針を定め、安心して利用できる校舎として整備します。

(4) 機能プラン (案)



(5) 事業スケジュール

有利な財政支援を受けられるように複合化の検討を行います。その後、事業手法を検討し、基本設計、実施設計のプロセスを経て建設工事へ進めていきます。

項目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
事業スケジュール	事業手法の検討	基本設計	実施設計	仮設校舎建設	既設校舎解体	新校舎建設	供用開始

(6) 概算事業費

本基本計画においては、配置図および平面図をベースに概算事業費を算定し、その概算事業費は約31.4億円を想定しています。

内訳は、設計費等におよそ2億円、既存校舎の解体におよそ2.8億円、仮設校舎におよそ4.5億円、新校舎建設におよそ22.1億円となっています。

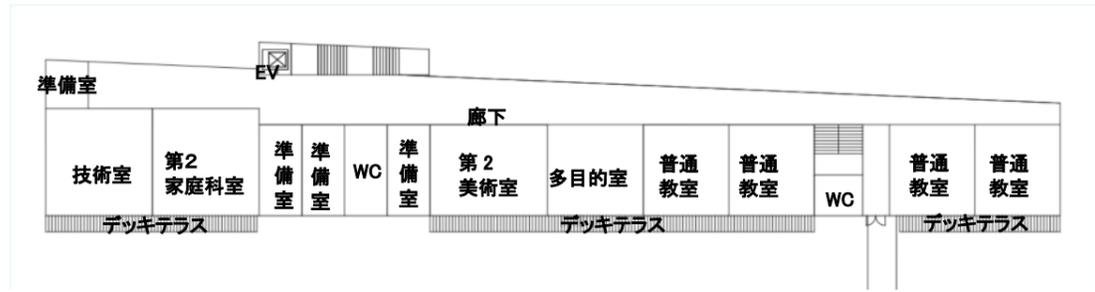
(7) 今後の流れ

シン学校プロジェクトを開始した2023(令和5)年度に比べ物価が高騰していることを踏まえ、補助金を活用し、有利な財政支援を受けるため、単なる校舎の建て替えではなく、他の公共施設との複合化を行いたいと考えています。

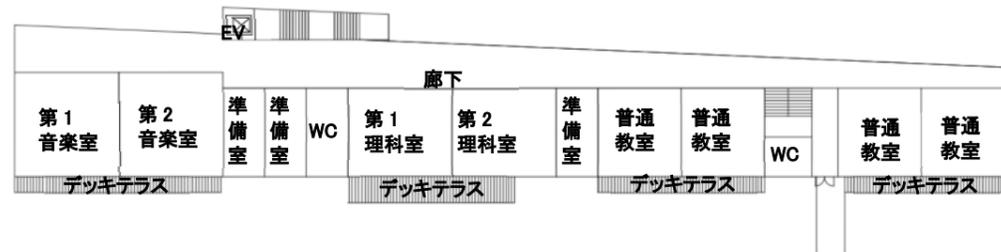
具体的には、現在の学校施設に求められている必要な機能や空間の検討に合わせて、地域のあらゆる世代の方々が気軽に利用できる機能を入れたり、他の公共施設との複合化をするなど、各部署と調整していきます。

その結果、基本計画に盛り込んだ地域の皆さま方のご意見を修正する必要がある際には、改めて修正案をお示しします。

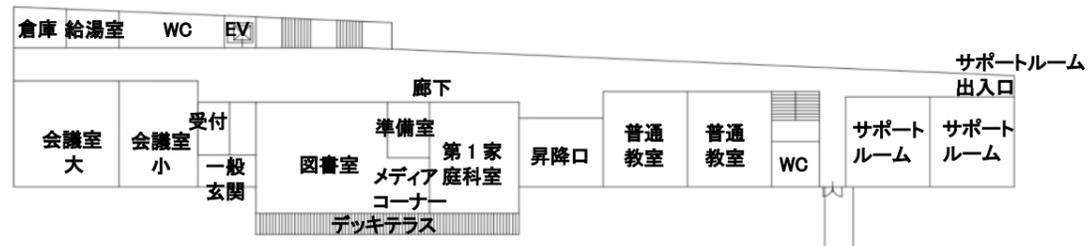
(8)イメージ図(案)



3階イメージ図(案)



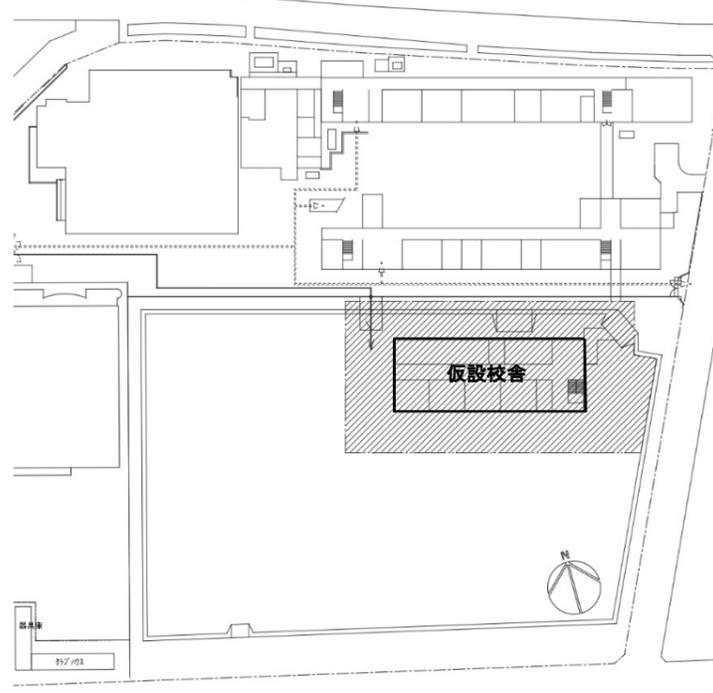
2階イメージ図(案)



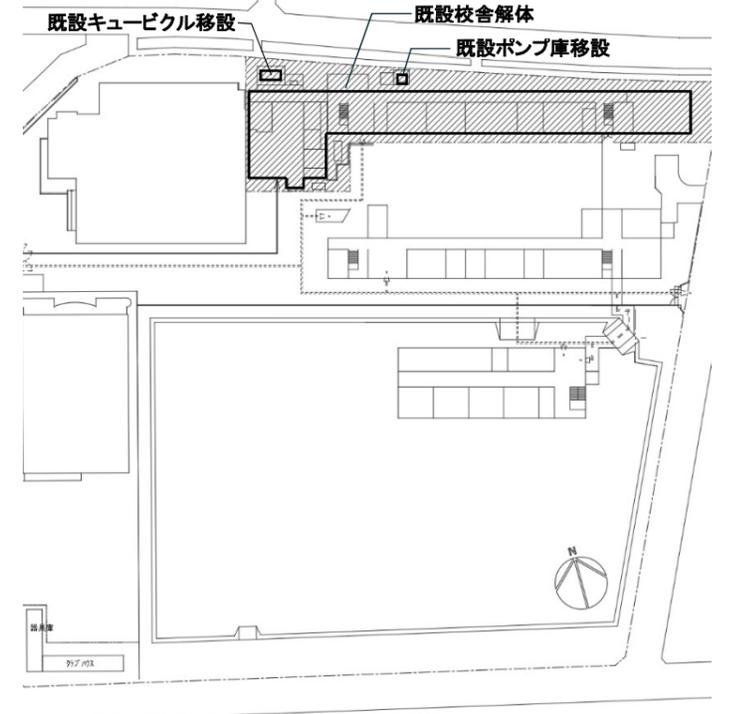
1階イメージ図(案)

(9)施設建替え計画

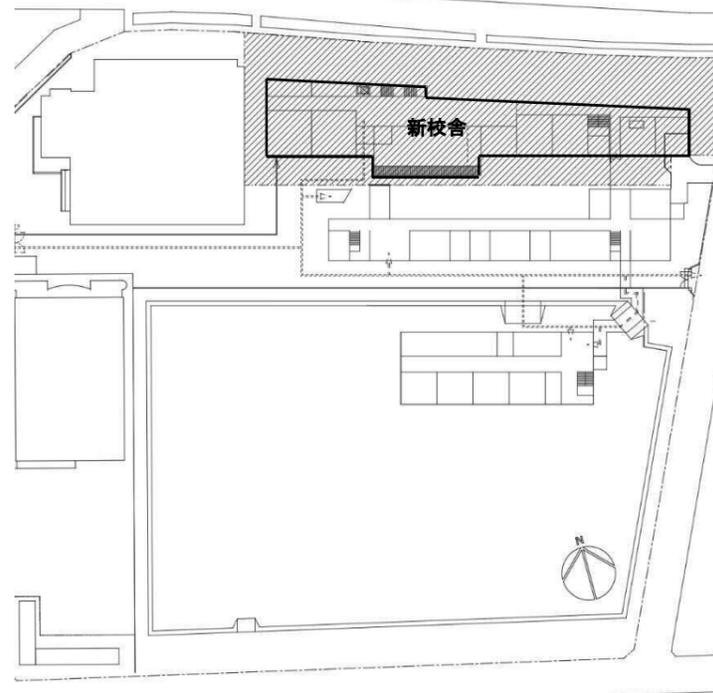
1. 仮設校舎建設



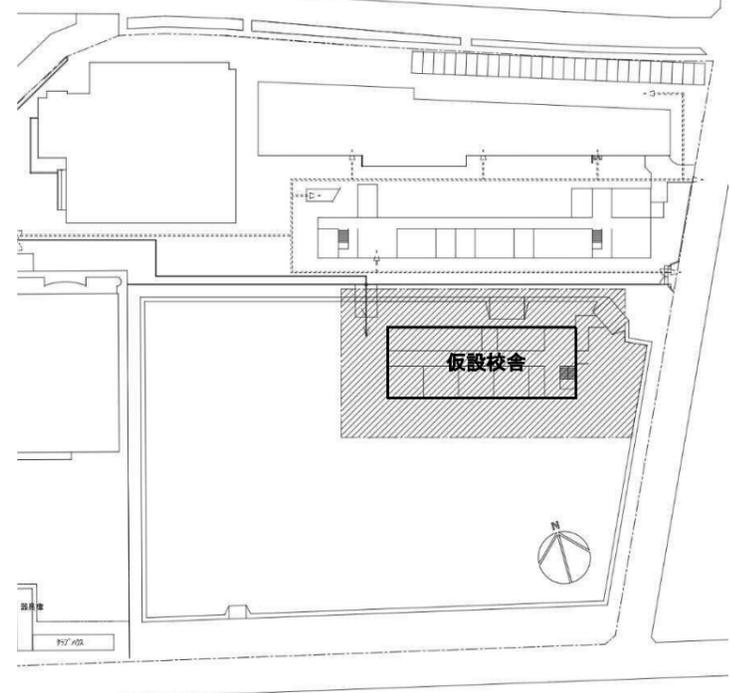
2. 既設校舎解体



3. 新校舎建設



4. 仮設校舎解体



※基本設計および実施設計の段階で内容が変更される場合があります。